A photograph showing five women from behind, walking away on a stone-paved path in a traditional Japanese town. They are wearing colorful kimonos: one in purple with white floral patterns, one in light pink with floral patterns, one in dark blue with white floral patterns, and one in bright green. The path is flanked by stone walls and traditional buildings with tiled roofs. The background shows a steep hillside with more traditional houses and lush greenery.

杵築市における地域ケア会議の取り組み ～保険者が主催する会議の意義について～

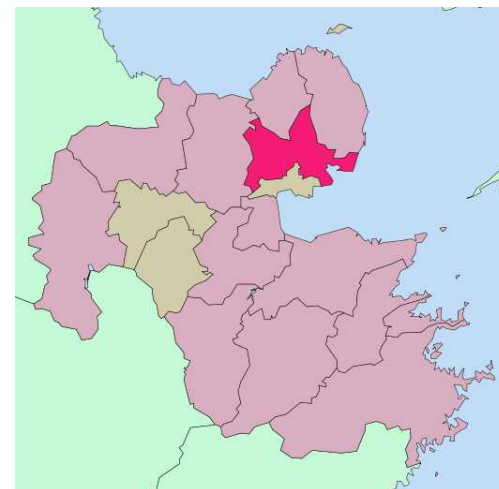
大分県杵築市高齢者支援課
課長補佐 江 藤 修

世界農業遺産の里 杵築市



国東半島宇佐地域
世界農業遺産

Kunisaki Peninsula Usa GIAHS

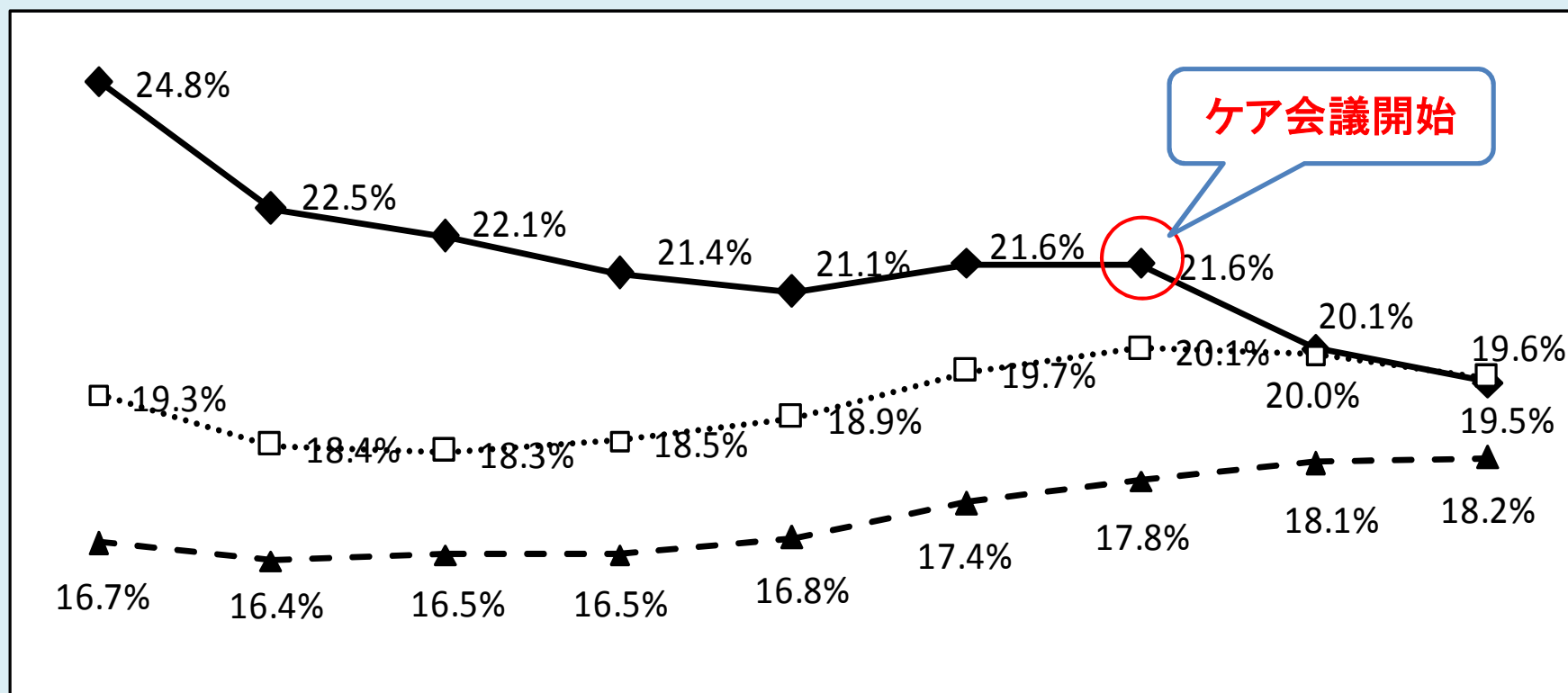


概要(平成26年3月末現在)

- (1)人口 … 31,104人
- (2)世帯数 … 13,454世帯
- (3)高齢者数 … 10,321人
- (4)高齢化率 … 33.2%
- (5)要介護認定者数 … 2,008人
- (6)要介護認定率 … 19.5%

要介護認定率の推移

—◆— 杵築市 …□… 大分県 -▲- 全国



H18年 H19年 H20年 H21年 H22年 H23年 H24年 H25年 H26年

杵築市地域ケア会議の概要

- 個別ケースの課題解決からネットワークの構築、地域課題の発見、社会資源の整備、政策形成
- 平成24年2月から実施、毎週水曜日の午前中
- 参加者：保険者(計画担当者)、地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護保険事業所、
助言者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、県保健所保健師
- 対象事例：介護予防給付・介護給付(福祉用具、住宅改修、例外給付)・地域密着型サービス、
困難事例・介護予防・日常生活支援総合事業

必要施策

- ①高齢者のQOL向上
- ②介護保険制度の理念の追求
- ③介護保険事業計画(課題解決)
- ④介護予防事業の強化
- ⑤認知症対策
- ⑥医療・介護連携

機能強化

- ①保険者(市)
- ②地域包括支援センター
- ③ケアマネジャー
- ④サービス事業所
- ⑤その他関係団体等

人材育成

- ①全関係者の意識改革
- ②政策立案能力の向上
- ③アセスメント能力の向上
- ④コミュニケーション能力の向上
- ⑤専門職の専門性の向上

高齢者のQOL向上

元気高齢者の増加

要介護認定者数の減

介護保険料の上昇抑制

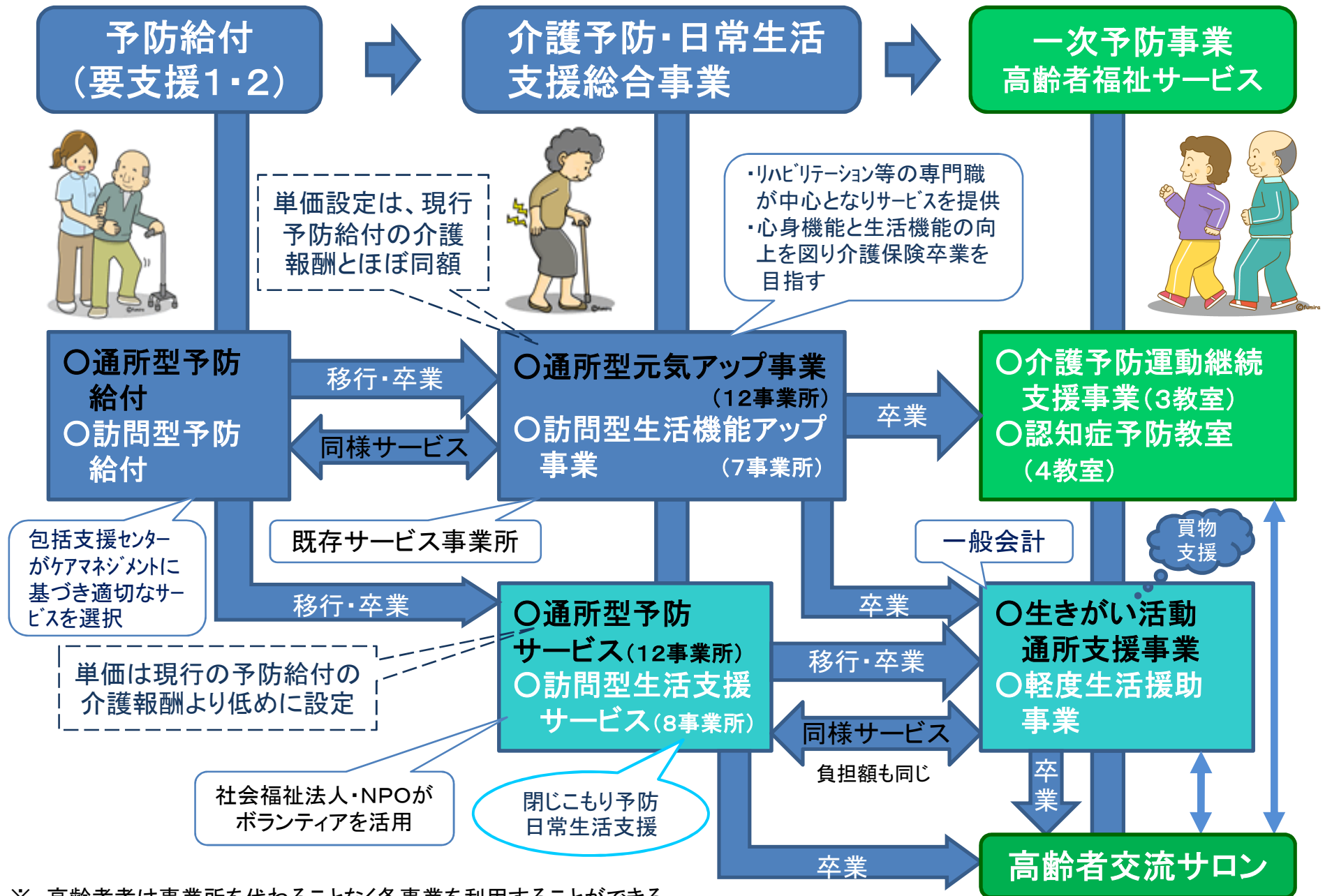


トップセミナーの様子



ケア会議の様子

介護予防・日常生活支援総合事業



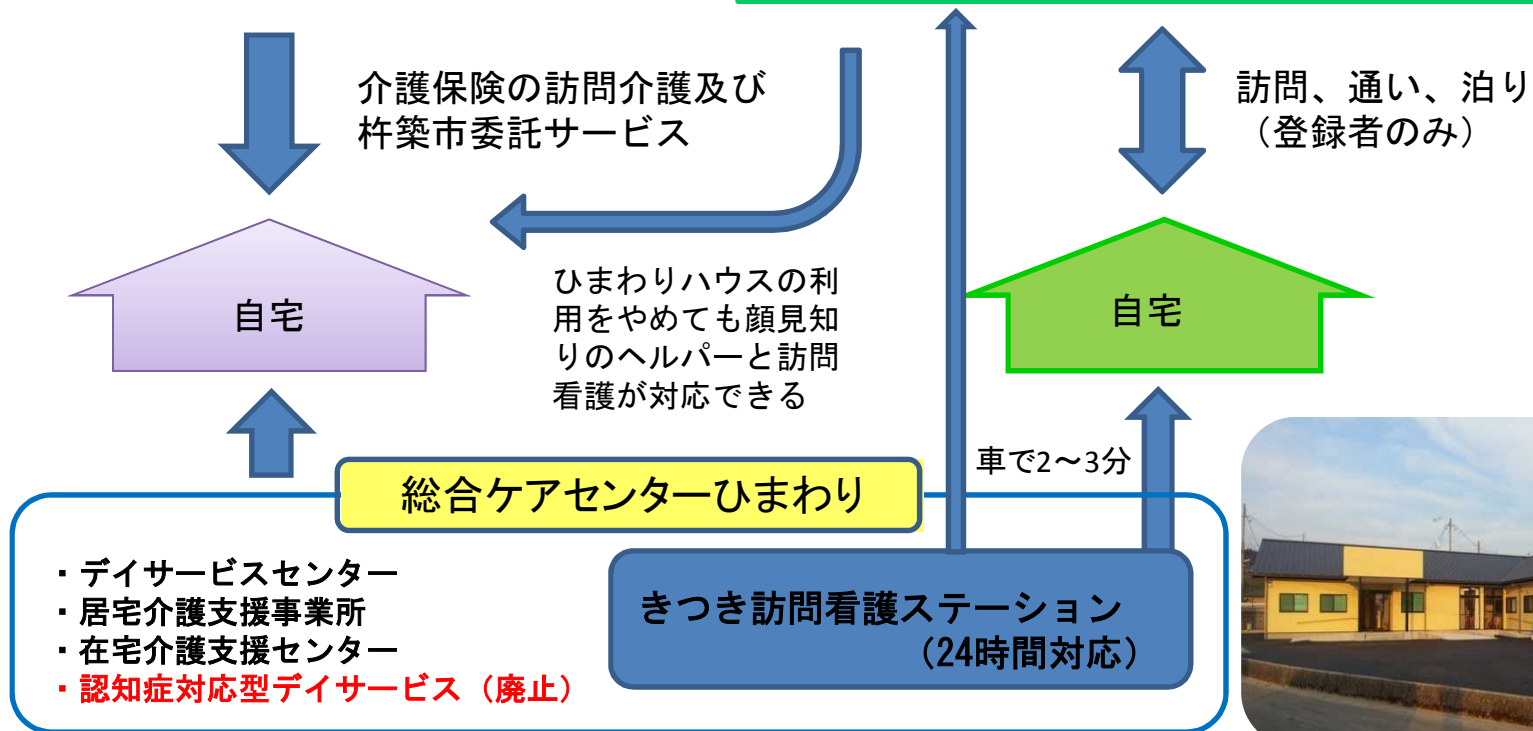
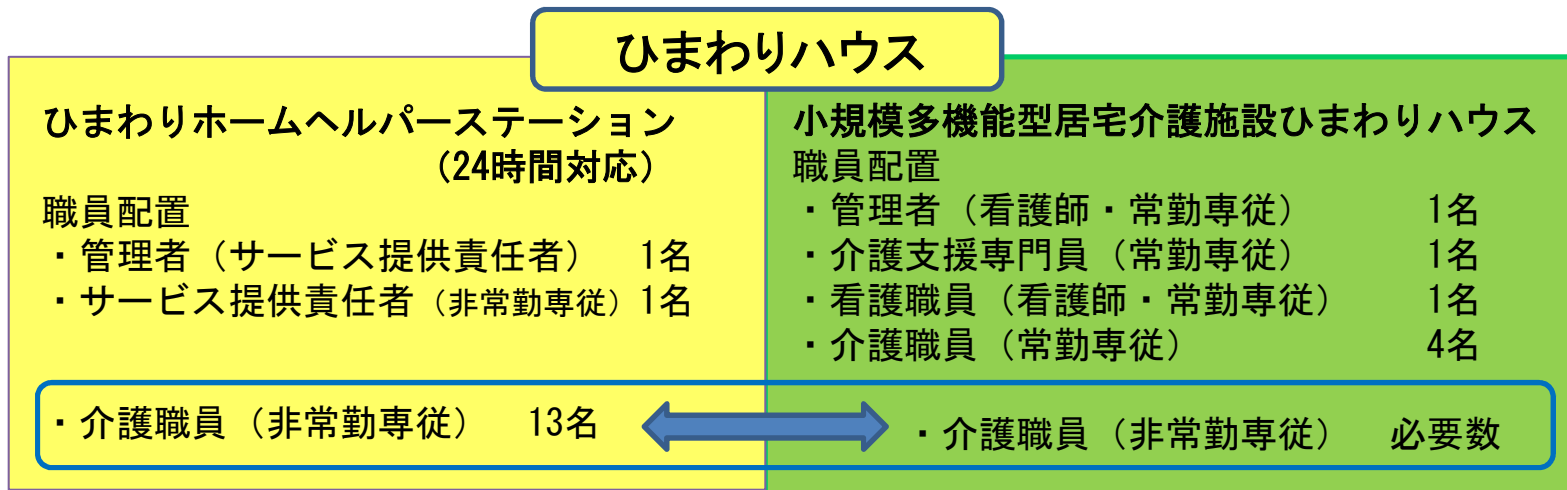
※ 高齢者は事業所を代わることなく各事業を利用することができる

会議で把握した地域課題から政策へ結び付けた例

- 大正12年生まれ 90歳 女性 要介護1 独居
- H19頃から 認知症 内科、整形疾患等なし
- 歩行：室内つたえ歩き又は杖使用、屋外は歩行器で500m前後
- 外出頻度：畑に出たり、近くのスーパーに週1～2回
- 洗濯、買物、調理、ゴミ出しはほぼ自立、服薬はできていない
- 金銭管理は買い物の支払はできるが、家のあちこちに置き分からなくなる
- 最近鍵をなくした、水道の水が出ない、近所の人物が取ったなどの訴えが多くなり家族が在宅での生活が難しくなったと判断し、グループホーム入所

- 80歳代 夫婦 要介護1 共に 認知症
- サービス利用：ヘルパー毎日利用 随時対応
- 掃除、整理ができず家の中が散らかっている
- 日中はテレビを見て過ごすことが多い、時々散歩に出かけるが帰れなくなることが多い
- 夫婦で頻回に喧嘩している
- ヘルパーが食事を用意しても促さないと食べない
- 夫婦で施設入所した場合の経済的な負担には耐えられない

アウトリーチ重視型小規模多機能型居宅介護施設の整備



杵築市における地域包括ケアシステム構築に向けた平成26年度事業 (地域ケア会議を通して把握した地域課題の解決に向けて)

地域課題

- ①介護支援専門員・介護従事者のアセスメント能力の向上
- ②栄養・口腔ケア(指導)に対するサービス基盤の整備
- ③医療と介護の連携機能の強化
- ④認知症初期段階の早期発見対策
- ⑤利便性が高く負担の低い移動手段対策

対策

①②について

○地域包括支援センター機能強化

作業療法士又は理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士を地域包括支援センターに配置し、介護予防事業の強化と効率的な実施に努めるとともに、介護保険事業所に対する技術的支援を行う。

③について

今後も進展する高齢化や保健・医療・福祉ニーズの変化に対応し、市民が地域において安心して医療や介護を受けることができる仕組みづくりを進めるため、杵築市における医療の将来像や、連携と機能分担のあり方について検討を進めていく。

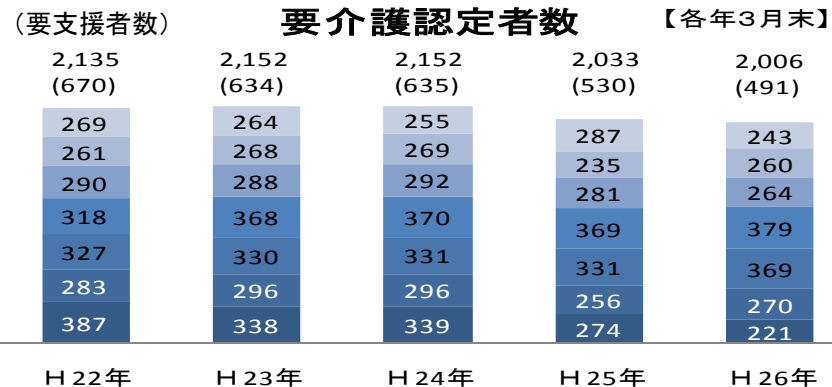
- ・医療・介護連携あり方検討会の設置
- ・多職種情報交換会の開催
- ・市民啓発を目的として出前講座の開催
- ・医療・介護連携ガイドの作成

④について(検討段階)

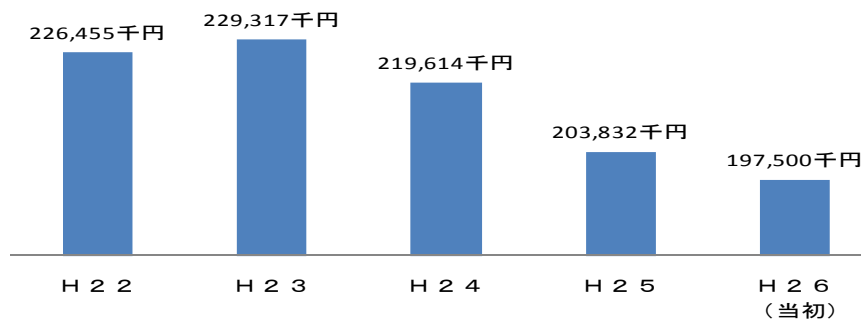
認知症をできるだけ軽度の時期に発見し悪化を予防することを目的として医療機関に検診を委託するとともに受診券を含めた介護予防手帳(仮称)を作成する。

⑤について

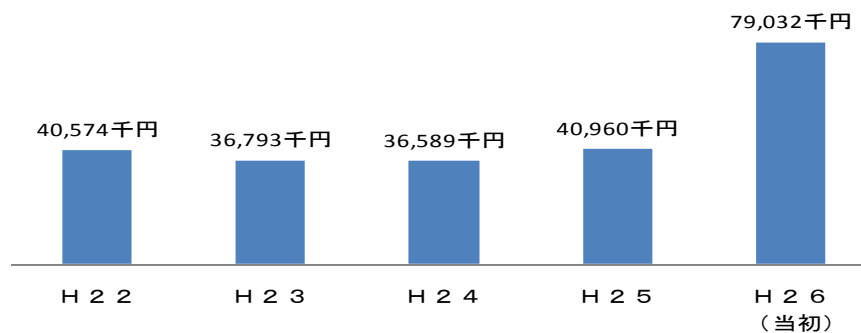
日常生活圏域ニーズ調査に市独自調査として「移動手段」の項目を加え、高齢者のニーズを把握したうえで、コミュニティーバス等市独自の公共交通対策の見直し作業を実施予定。



介護予防給付費



地域支援事業費



地域ケア会議のOJT機能

地域包括支援センター・ケアマネジャー

☆自立支援型ケアマネジメントの追求

- ①アセスメント能力の向上
- ②プレゼンテーション能力の向上

↓
合意形成能力の向上

③社会資源の整備

※ ケアプランの作成において、必要な医療・介護を結び付ける視点のみではなく、エンディングの瞬間まで尊厳を保てるよう社会資源を結び付けるもしくは創りだしていくことを考える場。

保険者（行政職員）

1. モニタリング（個人因子・環境因子の把握）

2. アセスメント（課題を抽出）

3. ケアプラン（支援計画）の作成

4. サービス提供計画の作成

5. 改善効果の評価（モニタリングの継続）

現状把握

現状分析

課題抽出

政策立案

予算作成・事業展開

評価・見直し

サービス提供事業所

☆尊厳と自立支援に根ざしたサービス

- ①介護・リハビリテーション技術の向上
- ②連携の重要性の学び
- ③モチベーションの向上

自分たちの支援で高齢者を元気に！

↓
自信と誇り

リハビリ等専門職

☆自立支援に対する意識と地域への関心

- ①専門職としての役割を考える機会
- ②関係者との連携機能の構築
- ③暮らしを支える視点が生まれた

自らのスキルアップの必要性

↓
団体活動の活発化

地域包括ケアシステムのマネジメント

